

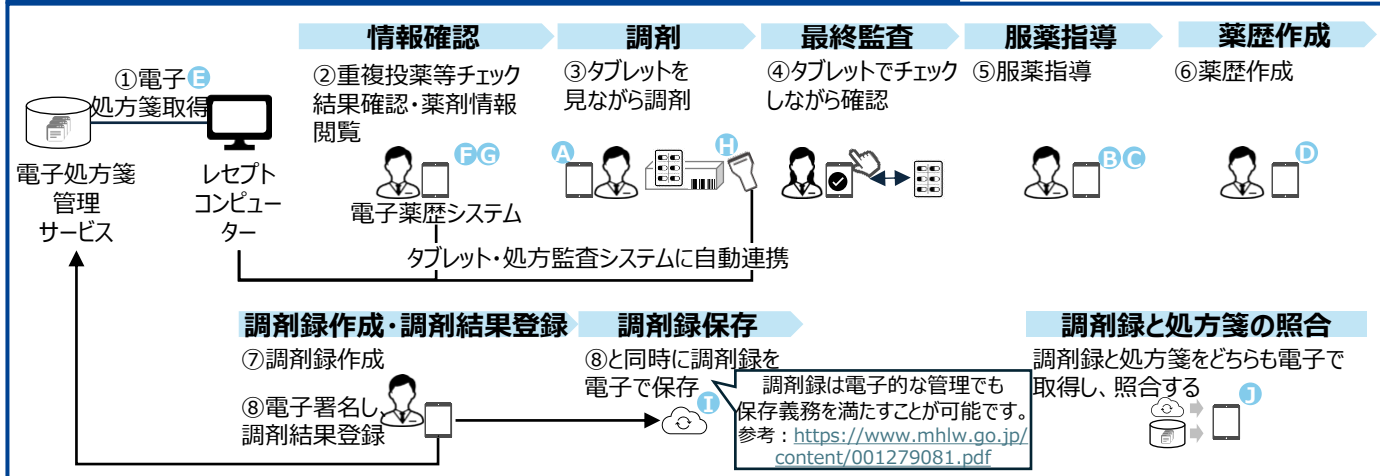
導入いただいた電子処方箋が さらなる業務効率UPにつながります！

電子処方箋による業務効率化や紙資源削減のメリットをより感じていただくため、運用のポイントを紹介します。是非システム事業者ともご相談の上ご検討ください。

運用のポイント

※電子処方箋の効果を最大限受けるための例です。実際の運用は薬局に応じて判断ください。

電子処方箋の効果を最大限受けるために運用を見直した場合（例）



タブレット端末の導入

タブレットは例えば下記のような使い方ができます

- A 調剤時の様子を録画して、患者からの問い合わせ時等に確認する
- B 服薬指導項目を表示し、確認したらチェックを行う
- C 服薬指導でヒアリングした内容を記入する
- D 音声入力機能を使って、薬歴作成時間を短縮する

補助を受けられる場合も！

▶詳細はこちら



タブレット端末等生産性向上に資する設備投資等を行うとともに、賃金引き上げを行うと、設備投資費用の一部が助成される助成金（業務改善助成金）があります。

レセプトコンピューターと 周辺機器の連携

タブレット（電子薬歴システム）とレセコンの連携を行うとより便利です

- E 患者の受付後すぐに調剤を開始できるので、患者の待ち時間を短縮できる
- F 紙の代わりにタブレットで調剤・最終監査が実施できるので、紙の印刷が一切不要になる
- G 処方箋の取得から調剤結果登録まで手元のタブレットで一気通貫で実施ができ、業務が効率化する
- H 処方監査システムとレセコンを連携することで、調剤した薬剤を読み込んだ際、処方箋の情報と差分がある場合はエラーが出るので、薬剤・用量間違いを避けられる

電子薬歴システムへの 調剤録作成機能の 追加

- I 調剤録をシステムで管理・保存できるため、調剤録の保管場所の確保が不要になる
- J 処方箋と調剤録の情報の照合がしやすい

運用改善を行い、実際に業務効率化や紙資源の削減等の恩恵を享受している
薬局の事例を整理しておりますので、是非参考にしてください。



引き続き、電子処方箋管理サービスへの調剤結果登録、調剤時の重複投薬・併用禁忌のチェック、直近の処方・調剤情報等の活用をお願いします。

電子処方箋のメリット

オンライン診療・オンライン服薬指導時に電子処方箋を活用すると、診療から薬の受け渡しまでの一連の流れをオンラインで行いやすくなります。

電子処方箋の導入は、より安心＆便利な医療の提供につながります。



上記の漫画は厚労省ホームページ（国民向け）にも公表しております。
漫画を使った電子処方箋の紹介資料も作成しておりますので、
患者様へのご案内にご活用ください。

